

～バラまつりに携わる皆さんに伺いました～



中野市バラまつり実行委員会

会長 **岡沢弘行**さん

中野市のバラのまちづくりの発展に貢献するために、バラまつりを実施し、市内内外にバラの魅力を広げ、観光客の誘致を図ることを目的に、中野市と連携し、バラまつりを実施する。運営は、中野市と連携し、市内内外にバラの魅力を広げ、観光客の誘致を図ることを目的に、中野市と連携し、バラまつりを実施する。

——20回目の「バラまつり」を振り返って、ご感想を。

岡沢 20回という節目の年を迎えるに当たり、あえて「原点に戻る」ことにこだわりました。黒岩先生が一本木公園にバラを植え、大事に育ててきた過程や、自分たちがバラまつりを始めたきっかけなどを思い返すことで、次のステージへ進むことができるかと考えたからです。その意味で、今回のバラまつりは大成功だったと思います。

——「バラまつり」の今後の展望をお願いします。

岡沢 バラまつりが主催者側の独り歩きとならぬよう、常に来園者の声に耳を傾けて行くことを大事にしたいです。6月の中

野は、街全体がバラの花で埋め尽くされる「バラの街」となってくれたらうれしいですね。今後は、感性豊かで若い感覚を持った後継者を育てたいです。

——岡沢さんにとって「バラまつり」とは何でしょう。

岡沢 一言で言えば「ライフワーク」。次のバラまつりは何を見せようか、どんな感動をお届けしようか：皆さんの笑顔をお思い浮かべワクワクの毎日です。

——最後に、お気に入りのバラの種類を教えてください。

岡沢 僕がオーナーの「リパブルリメンバーズ」です。



——今年の「バラまつり」の印象をお聞かせください。

西丸 今年はバラまつりを待っていたかのように、初日から園内のバラが咲きそろいました。市外からお越しいただくお客さまも多く見られてうれしいです。

——「なかのバラ大使」を務めていただいています。ご自身はどのように感じていますか。

西丸 バラが大好きなので、バラ大使に任命されてとてもうれしいです。また、バラは華やかできらびやかなイメージがあり、バラに格を上げていただいているような気がしています。毎年バラまつりに呼んでいただき、地元の方と直接触れ合える機会を作っていただけてとても

感謝しています。

——あらためて中野市に対する思いをお聞かせください。

西丸 子どもの頃は、都会にあげられていましたが、都会で暮らしてみると故郷の良さに気がきます。自然豊かで空気がおいしいのはもちろんのこと、ここで暮らす方たちの気持ちの温かさを感じます。いつも私を応援してくださり、本当にありがとうございます。

——最後に、お気に入りのバラの種類を教えてください。

西丸 「パローレ」と「ラブ」。赤いバラが大好きです。



なかのバラ大使

女優 **西丸優子**さん

西丸優子…中野市出身。女優としてドラマや映画、舞台などで活躍する傍ら、平成20年から「なかのバラ大使」を務める。現在は、7月から放送の東海テレビ・フジテレビ系全国ネット「明日の光をつかめ 2013 夏」にレギュラー出演中。

なかのバラまつり 20周年記念インタビュー



一般社団法人 一本木公園バラの会
なかじまひろし
 理事長 中嶋博司さん

一本木公園バラの会…平成6年設立。平成18年4月から一本木公園の指定管理者としてバラや植樹の管理、施設の保守などの業務を行う。平成25年4月から一般社団法人となる。「なかのバラまつり」では企画・運営に携わる。

——20回目の「バラまつり」を振り返って、ご感想を。
 中嶋 20回という節目の年にバラの開花時期とバラまつり期間がうまくはまりました。一本木公園バラの会としては、多くの方に公園を訪れてもらい、満開のバラを見ていただきたかったので、まつり期間中にバラが順調に咲いてくれて、ほっとしています。

——今後、一本木公園をどのような公園にして行きたいですか。
 中嶋 バラまつりの時期だけでなく、四季を通して多くの方に訪れていただけるような公園にしていきたいです。春から秋にかけてはバラを愛でてもらい、冬はイルミネーションやライトアップなどを施し、また違った

一本木公園を見ていただけたらと思っています。

——中嶋さんのバラへの想いをお聞かせください。
 中嶋 バラはとても「深い」です。最初は、とげがあつて苦手でしたが、どんだんはまっていき、今は黒岩先生がバラにのめり込んだ気持ちわがわがるような気がします。やはり日本人はバラが好きなんです。

——最後に、お気に入りのバラの種類を教えてください。
 中嶋 イングリッシュガーデンで最初に咲く私のバラ「メアリーローズ」です。



——今年の「ローズタウン」を振り返って、ご感想を。
 中村 初日はあいにくの雨でしたが、2日間合わせて大勢の皆さんに足を運んでもらいました。今年は、公益社団法人中野青年会議所、JA中野市青年部、中野商工会議所青年部のほか、中野商工会議所女性会も加わってもらい、それぞれの得意分野で力を発揮できたと思います。

——今年の「ローズタウン」で工夫した事は何ですか。
 中村 バラまつり会場から市街地に足を運んでいただくにはどうしたら良いか、皆で知恵を絞って、スイーツコンテストの開催、ラジオ番組の公開放送などを行いました。また、商工会議



なかのローズタウン実行委員会
なかむらあつし
 実行委員長 中村敦さん

なかのローズタウン実行委員会…平成22年から市内の青年3団体が協力・連携し、バラまつりにおける市街地活性化イベント「なかのローズタウン」を開催。バラ公園と市街地が一体となった「バラのまちづくり」を推進している。

所青年部で信州サーモンコロッセを試行的に販売したところ、大変好評でした。新しい中野の名物ができ、集客のきっかけになればと思っています。

——来年の「ローズタウン」に向けて抱負をお願いします。
 中村 ローズタウンは来年で5回目を数えます。お客さんに飽きられないように、それぞれの立場で新しい企画を考えていきたいです。

——お気に入りのバラを教えてください。
 中村 かわいらしいオレンジ色のバラが好きです。

